

平成28年度起業家精神育成事業実施要項

1 趣旨

変化の激しいグローバル社会においては、従来の枠組みにとらわれず、積極的に様々なことにチャレンジし、新しいビジネスや事業を起こそうとする、いわゆる「起業家精神」にあふれる人材を育成していく必要がある。そのため、コミュニケーション能力、チームワークとリーダーシップ、そして新たなことにチャレンジする意欲や決断力などを育む教育が一層求められている。

本事業は、事業実施校（団体）の企画に基づき、企業の協力を得ながら販売実践や企画シミュレーションを行うことにより起業家精神を養い、グローバル社会に対応できる人材を育成することを目的とするものである。

2 対象

県立高等学校の職業系専門学科の生徒

3 事業の実施方法

- (1) 事業への参加を希望する学校（団体）は、生徒が作成した企画書を提出する。なお、企画は、ものづくりやイベントだけでなく、例えば商品の開発から試作・販売まで一連の具体的な取組内容を含むものとする。
- (2) 企画は、同一校内における複数の学科、または、他校の学科と連携して取りまとめてもよい。一校から複数の団体が企画書を提出することも可能とする。
- (3) 事業実施校（団体）の選考に当たり、企業関係者等を審査員とするコンペティションを実施する。なお、コンペティションでは、事業に応募した各学校（団体）による企画の発表を審査員が評価することにより5校（団体）を決定する。ただし、10校（団体）を超えて応募があった場合は、企画書による予備審査を行い、コンペティションに参加する10校（団体）を決定する。
- (4) 事業実施校（団体）は、商品開発や販売促進等について連携企業から継続して指導を受け、その成果を発表する。

4 募集期間

平成28年6月6日（月）から6月24日（金）まで

5 応募時の提出書類

平成28年度「起業家精神育成事業」企画書【様式1】、及び予算概要書【様式2】

6 実施期間

平成28年度の1年間で実施する。なお、事業終了後もその成果を生かして活動を継続する。

7 事業の内容

事業の内容は、次の(1)、(2)の2項目とする。

事業実施上の留意事項については、別に定める。

(1) 事業実施校（団体）の取組

以下の項目について計画的に実施する。

- ① 企画書の作成及びコンペティションでの発表
- ② 連携企業等への協力依頼
- ③ 企画書に基づく活動の実施
- ④ 企業等との連携（企画に対し、継続的な指導・助言を受ける）
- ⑤ 先端企業等への訪問（商品開発や販売促進等についてのアドバイスを受ける）
- ⑥ 活動の評価、成果の検証
- ⑦ 成果の発表
- ⑧ 実施報告書の提出

(2) 県教育委員会事務局による取組

- ① 予備審査の実施
- ② コンペティションの実施
- ③ 事業実施校（団体）の決定
- ④ 事業実施校（団体）と企業との連携に係る支援
- ⑤ 事業成果発表会の実施
- ⑥ 事業成果の検証

8 コンペティションの実施方法

事業への参加を希望する学校（団体）は、企画書に基づき事業参加生徒が発表を行い、審査員（企業関係者等）から評価を受ける。なお、審査員の選定及び運営は県教育委員会事務局学校教育課が行う。

9 事業成果発表会の実施方法

事業実施校（団体）が、活動の成果を発表する。なお、発表会の運営は県教育委員会事務局学校教育課が行う。

10 事業実施後の提出書類

事業実施校（団体）は、平成29年3月末までに実施報告書【様式3】、決算報告書【様式4】を学校教育課長宛て提出する。

11 経費

事業実施に係る経費は、予算の範囲内とする。

起業家精神育成事業概要

《事業の概要》

チャレンジ精神やチームワークとリーダーシップを養う観点から、企業との連携により日本国内及び世界に通用する商品開発や販売促進を通して起業家精神を学び、グローバル化に対応できる人材の育成を図る。

4月 ～ 6月	生徒による企画書（ビジネスプラン、プレゼンテーション）の作成 ○商品の企画 ・商品コンセプト ・販売ターゲット ・市場調査 ○商品の販売計画 ・販売価格の設定 ・販路計画 ○利益計画 ・原価計算 ・短期利益計画の作成 学科間の連携や学校間の連携を含め、各学科の特色を最大限に生かした企画書を作成し、コンペティションに参加する。ただし、10校(団体)を超える応募があった場合は書類審査を行う。	Plan (計画)
7月 ～ 8月	事業実施を希望する学校(団体)のコンペティション実施 《生徒によるプレゼンテーション》 【7月26日】 企業関係者等の審査により、事業を実施する5校(団体)を決定する。	
8月 ～ 12月	企業に学ぶ ○起業家精神を学ぶ ・グローバルな視点での商品開発 ・チャレンジ精神の涵養 ○本物を学ぶ ・企業の施設・設備の見学 ・知識・技術の習得 販売実践、企画シミュレーション ○試作品の制作 ○販売実践、シミュレーション ○利益の算出 ○販売方法、販売経路の再考 企業との連携 - 連携企業による継続的な指導 (4回程度) - 先端企業等への訪問 (1回) - 県教育委員会 (随時) 指導・助言	Do (実施)
1月	起業家精神育成事業成果発表会 【1月16日】 企業関係者の講評 県教育委員会	Check (評価)
2月以降	評価結果を踏まえた商品、販売方法等の改善 ○改善を図り起業活動を継続 指導・助言 県教育委員会	Action (改善)

起業家精神を身に付けた国際的に活躍できる「グローバル人材」の育成